

科目名	老年看護学概論 Introduction to Gerontological Nursing		担当教員 (研究室番号)	小松 美砂 (301)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	misa.komatsu@mcn.ac.jp					
履修年次	2年次前期	科目区分	専門科目・生涯看護学		選択区分	必修	単位数(時間)	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	否
										オープンクラス	否	
科目目的	加齢による身体、精神、心理・社会的な特徴とそれに伴う生活の変化など、老年期にある人々について理解を深める。また、高齢者を取り巻く環境を含め幅広く超高齢社会の現状をとらえ、老年看護の役割について考える機会とする。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	C その時代の社会情勢や、人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につけている。(興味・関心・意欲)										
	関連するDP	A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度) E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢による身体、精神、心理・社会的特徴とそれに伴う生活の変化について概略を説明できる。 2. ライフプロセスにおける高齢者の発達課題について説明できる。 3. 超高齢社会の現状をふまえ、老年看護の特徴と役割について考えることができる。 4. 老年期のあり方について自分の感じたこと・考えたことを表現することができる。 5. 高齢者を尊重した関係性を形成する土台を身につけることができる。 											
成績評価方法(基準)	試験(85%)、レポート課題(15%)											
再試験の有無と基準等	科目の可否結果で不合格となった者には、当該学生からの申請により再試験を実施する。再試験は筆記試験とし、それまでのレポート課題や出席状況は再試験の評価に加味しない。											
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 (医学書院)											
参考書等	講義の中で必要時紹介します。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	全ての講義でグループワークやディスカッションの時間を設けます。事前・事後学習課題だけでなく、関心を持った内容について文献を用いて調べ、主体的に学びを深めてください。											
備考	老年看護方法Ⅰの先修条件となっています。											

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
1回	老年看護学の考え方	オリエンテーション(老年看護の変遷、老年看護学と他の学問領域との関係)。老年看護を学ぶにあたって、自分はどうに取り組みたいか考える。(グループ・ディスカッションを含む)	小松	講義
2回	老いるとは? : ライフプロセスにおける老年期の特徴と課題	高齢者の定義や高齢化の背景、老化学説など老年期の特徴を学ぶ。また、ライフプロセスにおける老年期の発達課題について学ぶ。(グループ・ディスカッションを含む)	小松	講義
3回	高齢者を取り巻く社会の現状	高齢者の家族構成・経済状況・社会生活の特徴を学ぶ。また、高齢者の健康に関する特徴について学ぶ。(グループ・ディスカッションを含む)	小松	講義
4回	高齢者の加齢による特徴: 身体的側面の変化	加齢による高齢者の身体的特徴や、老化に伴う身体の変化を学ぶ。(グループワーク・発表)	小松	演習
5回	高齢者の加齢による特徴: 心理・社会的側面の変化	加齢による高齢者の心理・社会的な特徴や、精神機能の特徴、知的能力の変化について学ぶ。(グループ・ディスカッションを含む)	小松	講義
6回	高齢者の生きた軌跡	DVDの視聴を通して高齢者の生活や生きた軌跡を知り、看護の役割について考える。(グループ・ディスカッションを含む)	小松	講義
7回	高齢者の介護・高齢者虐待	高齢者の介護の現状と、高齢者虐待、身体拘束・身体抑制について学ぶ。(グループワーク・発表)	小松	演習
8回	高齢者の時代背景を知る	高齢者が生きてきた時代背景や昭和の流行歌を知り、高齢者を理解するための土台とする。(グループ・ディスカッションを含む)	小松	講義

学 習 課 題	
1回目課題(事前)	: 自身の祖父母・曾祖父母の年齢や、高齢者との過去の思い出について振り返る。
(事後)	: 高齢者に関する自己の興味や疑問について整理する。
2回目課題(事前)	: 老いに対する自分のイメージを記述し、老年期の特徴について自己学習する。
(事後)	: 高齢者の定義、平均寿命を含め、老年期を生きる高齢者の特徴を整理する。
3回目課題(事前)	: 「元気で長生きする」ためにはどのようにすればよいかについて考え、関係する文献を用いて自己学習する。
(事後)	: 高齢者世帯の特徴・受療率・死因について整理する。
4回目課題(事前)	: 加齢による身体的側面の変化について自己学習し提出する。(配点5点: 自己学習内容をグループワークで発表する)
(事後)	: グループワークを通して学んだ内容を整理する。
5回目課題(事前)	: 加齢による心理・社会的側面の変化について自己学習する。
(事後)	: 高齢者の「豊かな側面」とは何かを考え整理する。
6回目課題(事後)	: DVDを視聴し感じたこと・考えたことについて、レポートにまとめて指定の期日までに提出する。(配点5点)
7回目課題(事前)	: 高齢者の介護・高齢者虐待について自己学習し提出する。(配点5点: 自己学習内容をグループワークで発表する)
(事後)	: グループワークを通して学んだ内容を整理する。
8回目課題(事前)	: 昭和の特徴や流行歌について調べる。

実務経験を活かした教育の取組
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。